

『領事館プロジェクト終了』

二月になり、市長さんへの表敬訪問が続きました。私もお相伴に預かり、津島市民の頑張っている姿を垣間見えています。天王川公園でランニングを楽しむグループが蟹江町の駅伝で優勝、幼い時からソフトテニスやラグビーを続けている児童が全国制覇、強烈な個性で成果を出している皆さんをお迎えし、お祝いや激励の言葉をお届けします。津軽三味線の演奏者の方にも来ていただきました。2月10日、ヨシヅヤの本店で児童画コンクールの表彰式があり、44人の児童が賞をいただきました。力作ぞろいの作品ばかりでした。

今年の領事館プロジェクトが終了しました。一月以降、カナダ・ブラジル・フィリピンの名古屋領事館と交流会をもちました。領事館の方や領事館サポーターの方を外部講師として、授業をしていただき、その国の歴史や文化、観光地を教えてくださいました。今年の特徴は、領事館から紹介していただいた現地の学校や日本人学校とオンライン会議を行ったところです。接続に少し手間取りましたが、時差をものともせず、学校間の交流が出来たことは交流会のあり方を一歩前に進めました。ダイバーシティ、多様性の理解、子どもたちにとり大切な人間力となります。2年が経過したので、来年度は交流する領事館をチェンジすることになります。

横井照子さんに関する続報。十月に津島市を訪ねてくださった照子さんの娘、カヨ・マリックさんから「ひなげしの花」の作品を贈呈していただきました。カヨさんが津島にみえた折には、津島高校に残っていた照子さんの文集（短歌と作文）を見てもらい、楽しんでいただきました。プレゼントいただいた作品は、照子さんの素敵なひなげしの花の絵に、かな文字で「ほのかにひとつ またひとつ けしの花」と北原白秋の詩が描かれている作品です。見る人の心をほのぼのとする作品。今年には照子さんの生誕百年の年です。津島市では、照子さんの生誕百年を祝う事業を計画しています。

年度末が近づき、それぞれの学校の学校運営協議会（CS会議）が行われています。CSでは、今年度の学校教育評価を踏まえ、来年度の学校経営方針について協議しています。公立学校の理事会のような、管理職のサポーターであり、学校運営を進める上でのパートナーです。学校づくりそして地域づくりの役割を果たしてもらいます。

合格の絵馬に風吹く梅の花

令和6年3月4日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視